

松田華音 × 福間洸太郎 × 上原彩子



© Ayako Yamamoto



© Masaaki Hiraga



© 武藤章

ラフマニノフ生誕150年記念

熱狂コンチエルト 2023

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

[指揮] 現田茂夫



《オール・ラフマニノフ・プログラム》

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18 松田華音

ピアノ協奏曲 第3番 ニ短調 op.30 福間洸太郎

ピアノ協奏曲 第4番 ト短調 op.40 上原彩子

(順不同)

2023 7.29 (土) 14:00開演 (13:00開場)

S: 7,700円 A: 6,600円 B: 5,500円 (税込)

ザ・シンフォニーホール

主催: ザ・シンフォニーホール

(ご予約・お問合せ) ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonycorner.jp>

プレイガイド

■ e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycorner> (パソコン・携帯) ■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycorner> [Lコード: 52620]
■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycorner/> [Pコード: 230-032]

※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

松田華音 × 福間洸太郎 × 上原彩子

ラフマニノフ生誕150年記念

熱狂コンチェルト 2023

ザ・シンフォニーホールの人気シリーズ「熱狂コンチェルト」。2023年夏は、ラフマニノフ生誕150年を記念して、彼のピアノ協奏曲が一挙に3曲披露される。

圧倒的な人気と実力を誇る“旬”のピアニストが3人登場するのも、このコンサートの大きな魅力だ。6歳から大学院まで本場で学び、デビューアルバムにラフマニノフの作品を収めた松田華音、豊富なコンチェルトのレパートリーを持ち、ワールドワイドな活躍を続ける福間洸太郎、そしてチャイコフスキー国際コンクール優勝者の上原彩子が、それぞれ第2番、第3番、第4番のコンチェルトを演奏。共演は、ソリストたちからの信頼の厚い指揮者の現田茂夫と、いつも熱い演奏を聴かせてくれる日本センチュリー交響楽団。

個性豊かな3人のピアニストが奏でるラフマニノフの濃厚なリリシズムの世界に、じっくりと耳を傾けていただきたい。

文・道下京子



【指揮】現田茂夫 *Shigeo Genda, Conductor*

東京音楽大学作曲指揮専攻で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。他、国内外の主要オーケストラも指揮し好評を得ている。世界的チェリスト故ロストロポーヴィチ氏と上皇后陛下の古希祝賀コンサート等でも共演し好評を博す。オペラ指揮者としても経験豊かで、東京二期会、関西二期会、錦織健プロデュースオペラほか、海外の劇場での指揮もしている。また、ペドロッチ国際指揮者コンクール(イタリア)の審査員やNHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティに富んだ活動を行っている。



松田華音 *Kanon Matsuda, Piano*

6歳よりモスクワで学ぶ。ロシア最高峰の名門、グネーシン記念中等(高等)学校で学び、スクリャーピン記念博物館より2011年度「スクリャーピン奨学生」に選ばれ、外国人初の最優秀生徒賞を受賞し首席で卒業。モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学、2019年6月首席で卒業。2021年モスクワ音楽院大学院修了。

これまでにプレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団、ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演。

ドイツ・グラモフォンより2枚のアルバムをリリース。2018年かがわ21世紀大賞受賞。
公式HP: <https://www.japanarts.co.jp/artist/kanonmatsuda/>

福間洸太郎 *Kotaro Fukuma, Piano*

20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。

パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、サントリーホールなどでのリサイタルの他、クリーヴランド管、イスラエル・フィル、NHK交響楽団など著名オーケストラと多数共演。CDは「バッハ・ピアノ・トランスクリプションズ」(ナクソス)など、これまでに18枚をリリース。多彩なレパートリーと表現力、コンセプチュアルなプログラム、また5か国語を操り国内外で活躍中。テレビ朝日系「徹子の部屋」や「題名のない音楽会」、NHK-TV「クラシック音楽館」などにも出演。第39回日本ショパン協会賞受賞。



上原彩子 *Ayako Uehara, Piano*

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた日本人として史上初の第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。

これまでにヤノフスキ、ルイーゼ、ラザレフ、ペトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラとの共演も多く、2017年にはベルリン及び日本において、インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。2022年にはデビュー 20周年を迎えキングレコードより記念ライブ盤を発売。

東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。

【管弦楽】日本センチュリー交響楽団 *Japan Century Symphony Orchestra*

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ <https://www.century-orchestra.jp/>

